

れども家の事に追われて居りますと、老化現象が早く、弾力のある考え方が出来なくなり、はっとさせられる事が、多くなって来ました。

この機会を拝借し、在學生の方々の中、時には、寮生活から離れたいとお
思ひの方がありましたら、遊びにおいで頂いて、たまには、若返ってみたい
と、思つて居ります。御希望があれば、よろしく。(当方幼児二人、平凡な
サラリーマンの主婦。)

(第3回 30年卒業)

思う……望む

前 沢 智 恵 子

一般的に女性が働く事に対して風当たりが強い昨今の風潮です。社会的なムードとしても共稼ぎの妻は夫をつなぎとめ得ないとか、育児は母親が専念せねばろくな子にならないとか云う不安を働く女性に与えてゴーホームと呼びかけています。

どの職場でも女性を締め出そうとする傾向があるなど公務員の職場も決して例外ではない様です。これに対して私共の職種の様にも永年の続を期待して採用された女性が、結婚を理由に育児を理由に返されるのか時折みられ、大変心残りに思う時があります。個人的には各々そうせざるを得ぬ事情があるのですが、それが結局は同性の本当に働きたい人、働かなければならない人の足をひき、より働き難い環境を与えることには、十分に注意していただきたいのです。仕事をもてば職場の一員としての責任があり、また社会の一員としての横のつながりを必然的に持つことになる。個人的な考え方なり、行動だけでは押しきれぬ面があるというごくあたりまえの事実の認識にどうも女性は弱いような気がします。でもこれははじめから肩いからせて考えなくとも働く仲間の中で自然に体得できるものではないかと思うのですが。家庭裁判所の仕事は女性の手が必要な点もあり比較的新しい職場でもあり且つ公務員として一応、生休産休が保障されている点でも他の職場に比して女性には働き易い働き甲斐のあるところのようにも考えられますが、反面仕事の量、内容には男性との差がほとんどなく且つ仕事に対する責任の大きさは就職前の想像以上であまりおすすめてできません。年中疲労しているし劣等感にもなやまされますし、仕事の内容は精神衛生上最悪のものでもありますし……。でもこれらの事は、他の職業でも表れる形こそ違え同じ問題だと思ひますし、一人では受けとめえぬ大きさでも、何人がで話し合い励ましあえば解決不可能とは思えないのです。在学中結核のため一年休学したこともあった私には(それが比較的健診診断のルーズな公務員試験を受けさせた最大の理由なのですが)まだ仕事についている私が不思議に思える時すらあるのです。結婚

して一見の母でもありとにかくなんとかやってゆけるのは、同期に入った連中と常に話し合ったり励ましあったりしていることがその最大の理由と思えます。こうした職場の人間関係の良さは（それは自分達自身でつくるべきものでもあります）他の職場に比し素晴らしい長所だと思われれます。現在私達は日本におけるマリッジカウンセラーの草分けとなるべく勉強していますが、勿論職業として割切らねばならぬ面も多く、夢が大きいと失望も大きく、しいては長続きしない原因となることを経験した上でのことで遅々とした歩みです。私等の前にも多くの女性が各々のやり方で気長に努力して家庭と仕事を両立させておいでになるし、私達もその様にありたいと毎日自分に言いさかせています。新鮮な感覚と才能をもたれた皆様が入っておいでになることを大いに歓迎いたします。

一人立ち四年目のつばやき

大江和子

ただいま6月6日午後4時0分、日本航空のDC-7C旅客機が羽田から伊丹へ向って飛び立ちました。その中に乗っている、ひとりの色の黒い、眼の鋭い、50才を少し出たぐらいの、背は高くないががっしりしている紳士が私を秘書として使っている常務です。

これから1週間が私の息ぬき期間——他人様本位の毎日に珮け暮れているとこの様な時こそと、あれもこれもやりたいことだらけで貧しい頭の中はいっぱいになってしまいます。業務の出張をこんな心持ちにしていると、あまり立派な秘書ではありませんが——。

広告代理店という、とてつもなくめまぐるしい世界に飛び込んで三年余、ただ一生懸命頑張ったという以外、いったい自分が何を得てどれだけ進歩したのか、落着いて考えたこともない有様です。『あゝいう会社は、あなたにはどうかしら』と首をかしげられる先生方の前で『大丈夫です』と豪語して意気揚々入社したのも、もうそんな前になるのかと感慨を新にしながら過ぐる年月を振り返ってみました。

私はコピーライターとして入りましたので三年余の博報堂生活の前半は制作者としての活動に終始しました。コピーライターといえは「江分利満氏」などによって今では遍く知れ渡ってしまった職業ですが、私が入った頃は一般にもの珍しく、私自身もこんなものとは知らないで、ただ働きに働いてみたい思いで選んだ職場でした。

コピーライターというのは俗にいう広告の文案家のことですが「スカッとさわやかユカコーラ」だけを作っているわけにはゆきません、商品研